



創造的復興に向け、具体策着々 「食・農、観光」軸に県と共同で戦略会社

肥後銀行

(九州フィナンシャルグループ)



くまもとDMCの設立会見で握手する(左から)甲斐隆博肥後銀行頭取、村田信一くまもとDMC社長、小野泰輔熊本県副知事(2016年12月26日)

未曾有の地震被害から立ち直ろうと、官民挙げて懸命な努力が続く熊本。
震災で地域経営の難易度が増した熊本で、肥後銀行は創造的復興に向けその存在感を増している。
その背景には、官民連携による総額317億円の復興支援ファンドの組成、文化財復興への寄付などに続き、
人口減少に伴う熊本の活力低下という、地域課題を視野に入れた具体策の実行がある。
“稼げる熊本づくりの戦略会社”くまもとDMCの設立、アンテナショップをコンセプトとした県産食材レストランの
香港出店など、くまもとの未来を見据えた地域金融機関の、真摯かつ挑戦的な取り組みが続いている。



県内の営業店など10カ所に整備した「防災井戸」は、同行のBCP体制強化と同時に災害発生時には周辺住民に開放し地域の給水拠点として生活用水を提供する



4月21日、香港に出店した県産食材レストラン「櫛杏」の開業記念式典で写真に収まる甲斐頭取など関係者。県農水産物の販売、香港インバウンド誘致の起点を目指す



熊本城復興を目的に取り扱いを開始した個人向け国債「熊本城応援プラン」の販売額の一部4,911万円を「熊本城復元整備基金」に寄付した(6月22日、熊本市役所)

ふるさと熊本の創生に向け真摯に

熊本地震後、ふるさと熊本の復興に向けた取り組みを着々と進める同行だが、「熊本創生」を目指す動きはすでに地震前に始まっていた。

少子高齢化・人口減少、経済のグローバル化といった社会構造や経済環境の変化への対応は、鹿児島銀行との経営統合による九州フィナンシャルグループの形成であり、熊本の強みを生かした地域活性化策は、震災前の2月に熊本の農と観光を主要テーマに開催した「くまもと地域振興フェア」にその姿を見せていた。

地域金融機関として 立ち位置、鮮明

そして震災後、ふるさと熊本の創造的復興に向けた肥後銀行の動きが活発、かつスピード感を増している。

震災1カ月後の5月13日には「復興支援方針」を策定し「震災復興委員会」を立ち上げ、7月までに支援方針に基づき官民連携で4種、総額317億円に上る復興支援ファンドを創設。熊本城や阿蘇神社など被災文化財の復旧・復興に、鹿児島銀行や九州フィナンシャルグループと3年間にわたる総額19億5千万円の寄付も決定した。

震災復興支援サイト「かせするもん。」を立ち上げ、観光情報や特産品案内など熊本を元気にする情報を積極的に発信している。熊本地震ではB

CP(事業継続計画)の重要性が改めて認識されたが、同行ではBCP体制の強化と同時に、災害時に地域の給水拠点として生活用水を提供する「防災井戸」(停電時にも機能する手動式)を県内営業店など10カ所に設置。熊本と共に歩む地域金融機関としての立ち位置を鮮明にした。

県と共同で観光・物産の戦略会社

震災復興に加え、今後の重要課題となる人口減少下での地域活力の維持を視野に、12月には熊本県と共同で熊本の強みである食と農、観光を軸に、“稼げる熊本づくりの戦略会社”といえる(株)くまもとDMCを設立。社長には元副知事で熊本空港ビルディング社長の村田信一氏が就任した。同社はビッグデータを活用したマーケティングで、インバウンドを含む観光客の誘致、国内外での県産物の販路拡大に力を注ぐ。

同行ではファンドを通じて資本参加する日本食レストラン「櫛杏」(ろあん)を4月21日、香港のメインストリートにオープンさせたが、これも食と観光戦略のベクトル上の展開である。開業式典で甲斐頭取は、「熊本の農水産業と観光には経済成長の潜在力がある」と、香港市場開拓に意欲を見せた。同店では県産食材を使った鍋料理などの和食で、香港人の舌に熊本の農水産物をアピール、国内農水産物輸出の最大のマーケット、香港

市場の開拓を図ると同時に、熊本の食をフックにインバウンド拡大も狙う。地域と運命共同体の関係にある地域金融機関が、活力に満ちあふれたふるさと熊本の創生に向け真摯に取り組む姿がそこにある。



profile

甲斐 隆博 頭取
かい・たかひろ／熊本市出身、1951(昭和26)年4月生まれ66歳。慶応義塾大学商学部卒。75年肥後銀行入行。03年6月常務取締役、07年6月専務取締役(代表取締役)、08年6月副頭取(同)、09年6月頭取就任。15年10月九州フィナンシャルグループ会長。熊本経済同友会代表幹事、熊本県体育協会会長など公職多数。趣味はゴルフほか。

DATA

所在地	〒860-8615 熊本市中央区練兵町1
T E L	096(325)2111
設立	1925(大正14)年7月25日
資本金	181億円
事業内容	普通銀行業務
従業員数	2,236人(2017年3月末現在)
拠点数	123(出張所、海外駐在員事務所含む) 平成27年10月 鹿児島銀行と共同持 株会社「(株)九州フィナンシャルグル ープ」を設立
グループ会社	肥銀リース(株)、肥銀カード(株)、(株)肥銀コ ンピュータサービス、肥銀キャピタル (株)、(株)肥銀用度センター、肥銀ビジネ ス開発(株)、肥銀事務サービス(株)
U R L	http://www.higobank.co.jp

採用情報

当行のHPをご覧ください。